

荻田知英新会長 就任

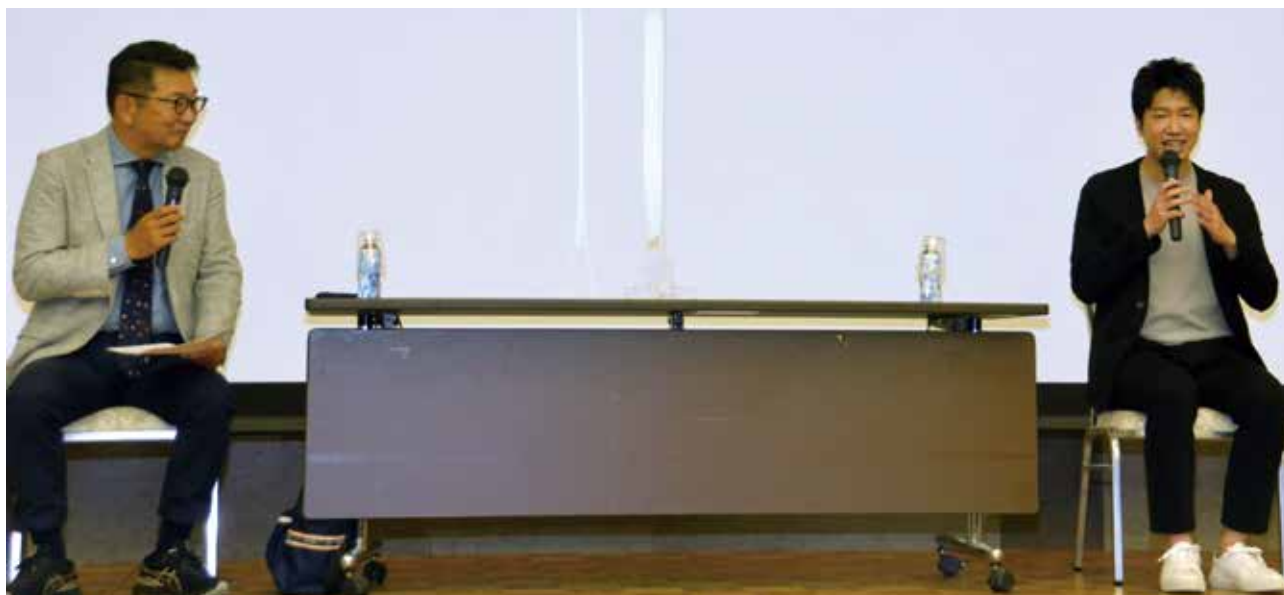
令和4年6月16日(木)新役員による理事会を開催。

会長・副会長・専務理事・常務理事・専門委員会委員長が選定された。

(詳細は6頁に掲載)



令和4年度 広島県スポーツ指導者研修会



令和4年5月14日(土)、昨年度中止した指導者研修会の申込者を対象とした、令和4年度広島県スポーツ指導者研修会を広島国際会議場で開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、参加者も先着300名までの申込者に限定した。

本会指導者養成委員会委員長 眞藤邦彦氏による「スポーツ指導者の役割と心得」では、指導者とプレーヤーの望ましい関係づくりのために大切な取組みや工夫等について実践を交えて講話し、参加した指導者もチームに持ち帰って活かせるよう熱心に聞き入っていた。

続いて、東京オリンピック卓球競技男女混合ダブルス金メダリストの水谷隼氏による「打ち返す力」と題したトークショーを行った。

(※水谷隼氏のトークショー内容の一部抜粋を2～5頁に掲載)

「打ち返す力」

水谷 隼

聞き手 神田康秋



【東京オリンピック】

神田：東京オリンピックがコロナウイルスの影響で延期になりました。あの時の心境は？

水谷：1年延期になって、選手としてはもちろんやりたい気持ちはありましたが、一国民としては世間の皆さんの声を聞くことと反対の声も多かったですし、自分もどういう立場を取ったらいいのか分からなくて、正直開催されないのではないかと考えていました。ただ今まで卓球に全て費やしてきましたから、しかも東京オリンピックで引退することを決めていましたので、最後悔いなく自分の卓球人生を終えたいなと思いついて、2021年4月から全力で取り組みました。

神田：そして東京オリンピックがはじまりました。大ピンチの試合もありました。まず混合ダブルスのドイツ戦。

2021年7月25日。ゲームカウントは3-3でいよいよ最終第7ゲーム。1-7、2-8、2-9とリードされました。

水谷：卓球の2-9は勝負がついたようなもので、そこから逆転できたという事は今考えても奇跡ですし、今後のオリンピック卓球競技で最終ゲーム2-9から逆転することはもう二度と起こらないと思います。

神田：逆転の確率は0%だそうですね。オリンピッククラスの試合でそこから逆転していくわけですよ。

6-9になった。そして6-10、マッチポイントを取られました。

水谷：卓球はみなさんご存じのとおり1点を取ったり取られたりがすごく早いですよね。またネットインとかエッジボールとか、運もあるのですが、そこから7回のマッチポイントをしのぎました。ここから逆転したらカッコイイなとも思いましたし、自分が望んだオリンピックが開催されて、しかもたくさんの方が応援してくださっている、こんなところで終わるわけにはいかないと、そういう気持ちが力になったと思います。

神田：そして7回のマッチポイントをクリアして、逆に大手をかけます。あと1点。

水谷：逆転してあと1点になったときに初めて勝てるかなと感じましたし、これでもし勝てたら歴史に残る試合だなと思ったので、信じられないくらいアドレナリンが出ていたと思います。ゾーンに入るという言葉がスポーツ界ではありますが、どうい

う状態なのかというと、相手選手と自分しかいない空間、周りの音とかがシャットダウンされて、周りの背景も見えていない、相手と自分とあとその真ん中に卓球台があるだけという状態に入ることを僕はゾーンと言っているのですが、ずっとそんな状態でした。

神田：そして勝ちました。奇跡を起こしましたね。

水谷：奇跡ですね。自分の力だけではなく、いろんなパワーが働いて勝たせてくれた勝利だと思いますし、それがきっかけでそのあとの金メダルにも繋がっていったと思います。

神田：そしていよいよ中国戦。中国戦は0勝4敗です。

水谷：過去2年間くらいで4回対戦して、負けていました。ただ負けてはいたのですが、オリンピックという舞台はこれまでの大会とは違うと感じていたので、チャンスがあるのではないかと考えていました。

また、4年前のリオオリンピックの男子団体決勝戦の中国戦で0勝13敗の選手に初めて勝つことができたのですが、今回の決勝戦も同じ選手との対戦だったので、これは何か起きるのではないかと予感していました。

神田：悉くプラス思考という感じがしますね。不安もない。

水谷：いや不安はやはりありましたが、この決勝で勝てたら今までたくさん負けてきた悔しい思いを全て返せるなという強い気持ちはありました。

神田：そして決勝戦。第1ゲーム5-11、第2ゲーム7-11。思いどおりにはいかなかったですね。

水谷：いかなかったですね。ただ、オリンピックの決勝戦で多くの人たちに観てもらっているのがすごくうれしくて、0-2になった時には勝ち負けよりも1秒でも長くプレーしようという気持ちでした。卓球の素晴らしさを皆さんに伝えたいと思っていましたので、勝ち負けよりもいいプレーを1本でもしたいと思って迎えた3ゲーム目でした。

神田：3ゲーム目。ここから自分たちのリズムをつかんできた。そこから3ゲーム連取します。

水谷：1、2ゲームたしかに取られてはいたのですが、相手の調子が、今までが10だとすると、6、7くらいだったので、やはり相手も緊張しているなと感じていました。相手もミスを恐れている



MAZDA CX-5

あたらしい地図を、走れ。

ので緩い球で返してくる、その緩い球に対して普段であれば簡単なミスをしてしまっていたので、しっかり返球できればチャンスがあると思っていました。

神田：決勝の中国選手はすごく見えましたよ。あれで緩かったのですか？

水谷：緩かったですね。それは今まで4回勝っていたというのがあったと思います。今まで勝っているのにオリンピックの決勝だけ負けたくないと思っているので無理してこない。相手の調子があがらないまま、こちらはだんだん調子が上がってきて、負けて当たり前だと思っているので強気で攻めることもでき、点数をリードすると相手はさらに消極的になってきて、そこから一気に3ゲーム連取できました。

神田：3ゲーム連取して、中国が取り返して、3-3でいよいよ勝負は第7ゲーム。

水谷：中国は底力がすごいので4-2で決めたかったというのはありました。それまでも3-3になって最後負けるという試合が数えきれなくらいありましたので、7ゲーム目が始まる前は、いい戦いして結局負けののかと思っていました。

神田：ところが最終ゲームは一方向的でした。8点連取。これは見てきたと思うじゃないですか。

水谷：そうですね。8-0は最高の展開で、たしかにちょっと意識しますよね。

神田：しかしその後、怖い怖い中国からの追い上げがありました。

水谷：9-5になった時に、長年の経験からこういう流れの時はもう正直駄目だと思いました。オリンピックの決勝で8-0から逆転負けしたらどうしようと思っていましたが、その時伊藤選手のレシーブがネットインしてラッキーな1点が入ったんですよ。シングルスだったら負けていたと思いますが、伊藤選手のラッキーなプレーがあって、10-5になった時に7割くらい勝てるかなと思いました。

神田：そして伊藤さんのサーブ、相手の返球がネットにかかって金メダルの瞬間です。

水谷：あの時は信じられないという気持ちがいっぱいで、人生の中で信じられない瞬間って結構あると思うのですが、本当に頭が真っ白になるというか、現実とは思えなかったですね。今でも半分くらい夢なのではないかと思うくらいオリンピックの金メダルは現実味が無いような気がします。

【水谷準選手の原点～卓球人生】

神田：静岡県磐田市。そこで水谷選手は誕生しました。卓球をするきっかけは？

水谷：両親の影響ですね。両親が卓球のスポーツ少年団をやっていて、2つ上の兄もやっていたし、家に卓球台がありまして、自然の流れで卓球を始めましたね。

神田：卓球は好きだった？夢中になった？

水谷：当時は楽しかったと思いますね。まあ両親が怖いというのもあったのですが、試合で小学生の頃から中学生や高校生の選手に勝ったりして、年上の選手を倒せるという楽しかった思い出があります。

神田：卓球を辞めたいと言った時がある？

水谷：小学6年生くらいですね。その時、同世代では日本一になっていて、すごく強い選手になっていたのですが、学校が終わったらすぐ家に帰って、宿題して練習して、週末は試合に行ったり、他県に練習に行ったりと、自分の遊ぶ時間が全然なくて、まわりの友達がうらやましかったです。また卓球に対する両親の指導も厳しかったので、ストレスでもう辞めようと思ったことがありました。

神田：それでご両親に「辞めたい」と話した。人生で1回きり。

水谷：当時、両親は神様みたいで絶対に逆らえない存在でしたが、勇気をふりしぼって「辞めたい」と言いました。次の日練習に行く時間になっても部屋で過ごしていたら、無理やり父に引っ張って連れていかれて、「あ～自分の人生もう終わったな」と思いながら、怖い逆らえないから何も言えず、練習を再開したのを覚えています。

神田：そして中学校に進むのですが、進学はご自身で決めていくのでしょうか？

水谷：最初は地元の中学校に進学しました。当時中学校の全国大会を制覇している青森山田中学校という強豪校があって、もちろんその学校からもオファーがあったのですが、強いチームを倒すことにすごく憧れていたんで、全国から強い選手が集まっている青森山田という強いチームを一人で倒すスーパーヒーローになりたいと思って、地元の学校に行きました。

神田：しかしその後、青森山田へ行って、ドイツに行くことになるのですよね。

水谷：矛盾すると思うのですが、青森山田を倒したかったのに、結局中学2年の時に転校することになりました。ドイツと青森山田からほぼ同じタイミングで誘いがあって、ドイツに行って青森山田に行かない方法を模索したのですが、行くためにはお金がなかったので、青森山田に行ったら金銭的な支援をしてもらえという事で、渋々青森山田へ入ることになりました。でも入ってみると青森山田は素晴らしい学校でした。強いチームは絶対理由があるのです。

神田：どういうところが強い理由ですか？

水谷：青森山田の選手は、客観的に見ていた時はへらへらして粹がっている印象だったのですが、実際に入ってみると日本





さあ、ともに 未来へ！



ラグビー部



陸上競技部



女子卓球部

中国電力はシンボルスポート部の活動を通して、地域のスポーツ発展に貢献するだけでなく、夢に向かって挑戦し続けることの大切さを子どもたちに知ってほしいと願っています。

中国電力株式会社
<https://www.energia.co.jp/>

一練習するし、みんな真面目だし、だから強くなるのだと思いました。青森山田に入って、青森山田の練習ができたから今の自分があると思いますし、入ってみてよかったです。

神田：ドイツの話をしたいのですが、ドイツと日本では指導は違うのですか？

水谷：全然違いますね。はじめカルチャーショックを受けました。日本では監督は絶対で、監督の言われることに全て従わなければいけないという風潮があると思いますが、ドイツは練習メニューが個々に違うので、みんなでまとまってやるのではなく、個々に練習をこなしていく感じです。それと選手とコーチが対等でざっばらんに話をする感じがですね。

また、ドイツでは「練習を休みたい」と言ってもいいですし、逆に指導者から「疲れているようなので練習を休んだ方がいい」と言われます。日本では「休みたい」と言ったら、えげつないほど怒られたことがあります。青森山田の時に、先輩方から「強い選手が言ったら大丈夫だから、頼むから先生に練習休みくれと言ってくれ」と言われて、先生に言ったら「この長い歴史の中でそんなことを言ったのはお前だけだ」とめっちゃめちゃ怒られました。それくらい日本では練習休みたいと言うだけでも厳しいです。

でも、その時監督はめちゃくちゃ怒ったのですが、その後しっかり休みをくれたのです。そして、それ以降は大事な試合前とかには練習メニューや休みを水谷が決めてくれと言って任せてくれました。

神田：青森山田の雰囲気を変えたのは水谷さん？

水谷：変えた自信はありますね。

神田：ノーパンで卓球をやるというのは青森山田の伝統？

水谷：伝統ですね。先輩方もノーパンでやっていました。スースーはしますけど、興味がある方はぜひお試しください。口で説明するより、やってみていただいた方がわかるので。

神田：ドイツでもノーパンでやって世界中に広めようと思っていた？

水谷：広めようとは思っていないですよ。ドイツ人は驚きますよね。「お前パンツ忘れたのか」って。

神田：言葉も分からない、食事違う、環境も違う中でよく頑張ったね。

水谷：本当に考えられないですよ。今行くのと違って当時は携帯電話もなかったですし、パソコンのWi-Fiとかもなかったという、そういう時代でした。めっちゃくちゃ苦労はしました。



一番大変だったのは、移動ですね。毎週試合があるのですが、片道2時間半くらいかかるので、試合終わって夜中の2時とかに帰ってきて、コンビニとかもないので何も食べずに寝たりしていたので、何もかもが大変でした。言葉もちろんわからないですし。

神田：それを乗り越えて日本代表になっていくわけですよね。オリンピックはやはり小さいころからの憧れの大会でしたか。

水谷：アスリートにとっては一番大きな大会ですし、観ているだけでも幸せというか楽しいですね。

神田：4回オリンピックに出られたわけですが、まず1回目は北京オリンピック。

水谷：北京の時は本当にお祭りですね。メダルを獲るというよりも、観客の皆さんと同じ感覚でした。当時日本の卓球界は弱かったのも、今は推薦で出られるのですが、なんとかアジア予選をギリギリで勝って、やっとオリンピックに出られたので、オリンピックに出られたただけでお祭りのようなテンションで戦っていました。

神田：2回目がロンドンオリンピック。2回目だから結果を出したいですね。

水谷：北京の時は世界ランキングが30位とか40位とかだったのですが、ロンドンオリンピックではランキングが4位か5位でメダル圏内でした。でも残念ながらシングルスでベスト16、団体戦も準々決勝で負けてしまって、ものすごく不完全燃焼なオリンピックで終わってしまいました。

神田：ロンドンオリンピックのときはメンタルが非常に不安定だったと本にも書かれているのですが、眠れなかった状態というのは？

水谷：もともと大きな大会の前は緊張しすぎて寝つきが悪くなるのですが、メダルのチャンスだったので、メダルを獲りたい気持ちで、不安を取り除かなければいけないという考えすぎてしまって、寝不足でコンディションが悪くなってしまいました。

神田：その結果から卓球人生のどん底に向かっていくわけですね。

水谷：ロンドンオリンピック後の1年間で人生で一番どん底でした。そもそもロンドンオリンピックが終わったらテレビとかイベントに出ると思っていたので、半年間くらいスケジュールを開けていました。でもメダルを獲れなくてオファーが何もなく、車の免許をとる合宿に2週間行きました。

その後、用具ドーピングといわれる、ラバーに禁止されている物質を塗り込むという不正をしている選手が多かったので、国際卓球連盟に訴える活動をしていまして、試合もボイコット



未来を、ひろげる。

私たちは、お客さまに寄り添い、声に耳を傾け、
真に信頼される〈地域総合サービスグループ〉として
お客さまとともに、この地域の未来をひろげます。



広島銀行

ひろぎん証券

しまなみ債権回収

ひろぎんキャピタルパートナーズ

ひろぎんITソリューションズ

ひろぎんリース

ひろぎんエリアデザイン

ひろぎんヒューマンリソース

(2022年4月1日現在) [Z207](#)

トしました。一時期選手を離れるので、選手でもないのにお金をいただくのは申し訳ないと、スポンサーさんにも自分から言いました。

神田：卓球の試合への挑み方ではなく、自分の人間としての「打ち返す力」ですね。許せなかったのですね。

水谷：フェアだからこそスポーツは面白いと思うんですよ。フェアであるのが大前提なのに、フェアでない状態でプレーして勝っている選手がいることを国際連盟の会長も知っているのに、何も変えない現実が許せなくてボイコットしました。スポーツの裁判所に訴えるというところまでいっていたのですが、途中で挫折してしまって、最終的には何も変わらなかったですし、自分の人生を棒に振ったというか、無駄な4カ月になりました。



神田：ただそれは結果としてはつながっていないのですが、自分は正しいことをしたという、自分を褒めてやりたいという4カ月でもあったのではないですか。

水谷：自分が間違った行動をしたとは思っていないですね。何も生まれなかったですけど、後悔もしていないですし、自分らしくてよかったのかなと思います。

神田：そしてどん底から這い上がっていく。自費でコーチを雇いましたよね。

水谷：ボイコットをやめて、全日本選手権に出て負けて、世界卓球でも初戦で負けてしまいました。成績が悪くなると、今まで応援してくれていたコーチが手のひらを返して相手してくれなくなって、世代交代だと言われて、今まで一生懸命やってきたのに、オリンピックと全日本選手権、世界卓球の数回負けただけで変わってしまう現実が悔しくて、自分の力でもう一回生きていこうと決意しました。

神田：一番つらいときですね。でもそこから自分で雇ったコーチとロシアで復活していく。リオデジャネイロオリンピックでシングルス銅メダル獲得。

水谷：1988年にソウルオリンピックで卓球が採用されて、日本人史上初のオリンピック個人戦でのメダルだったのでめちゃくちゃ嬉しかったですね。

それに、卓球では愛ちゃんとか石川選手とか女子の選手がとても注目を集めていて、テレビでも2006年から世界卓球が放送されていたのですが、男子も一生懸命頑張っていたし、女子と同じくらいの成績、もしくは女子よりいい成績も残していたけれど、10年間テレビで男子は全く放送されなかつ

たので、悔しい思いがありました。

日本のスポーツ界は女性アスリートにメディアは注目するじゃないですか。それを超えとなると男性は結果しかないとはいいます。世界選手権でメダルを獲っても駄目だったので、オリンピックでのメダルしかなかった。リオオリンピックの後、少しは注目されたのですが、やはりそこからまた強い女子選手がたくさん出てきたりして、男子の注目度が落ちてきていたので、東京オリンピックで何とかしたいといけなと思っています。最後のチャンスを活かしたという事ですね。

神田：視力の方が落ちるというご苦労もされました。

水谷：もともと引退の決め手となったのは目の負傷が原因だったので、数えきれないくらい病院にも行きましたし、検査のためだけにアメリカにも行きましたが、治療ができないという事で、引退を決意しました。

東京オリンピックの自分のパフォーマンスは決して100パーセントとは言えないのですが、苦しい中でも一生懸命勝つために努力しましたし、全くくはならなかったけれど、時間もお金もかけて目の治療をしようとした、その姿勢がオリンピックの結果につながったとは思いますが。

また、メガネは1年くらいかけていなかったのですが、このままでは勝てないと思って、オリンピックの3日前にいか八かでメガネをかけることを決めたので、一発勝負というか、リスクを負ってやってみる、行動してみるというのも大事なかなと思います。そういう勝負度胸というか、ここぞというときに自分を信じて行動できる人が強い人だと思います。

神田：水谷さんの未来ですが、これからの人生どういうふうに生きていかれますか。

水谷：生涯輝いていたいと思います。

みなさんもそうだと思うのですが、人間って承認欲求が絶対にあると思います。リオオリンピックでメダルを獲得して、メディアにも取り上げられて、みんなに認められて、卓球凄いいねと言われることにすごく幸せを感じたんですよ。そして、もう一度輝きたいという強い気持ちが1つの原動力でもあって、東京オリンピックでメダルを獲ることができ、自分がまた認めてもらえて、卓球をはじめの子どもたちがたくさん増えていることが嬉しいですし、テレビに出ているのもそうですが、人に見てもらいたい、生涯輝いていたいという気持ちがあるので、これから人前に立つ仕事をしたいと思っています。



未来を、
こうしよう！

私たちに、抱いているビジョンがあります。
緑あふれる環境の中で、誰もが笑顔で働き、学び、生活できる未来。
私たち中電工が、持続可能な社会づくりに貢献していきます。
これからも時代のニーズに合わせて進化し続けながら、
みなさまとともに歩んでいきます。



屋内電気工事

空調管工事

情報通信工事

配電線工事

送変電地中線工事

リニューアル工事

エネルギー関連工事

環境関連工事



中電工

CHUDENKO

〒730-0855 広島市中区小網町6番12号
www.chudenko.co.jp

菊田知英 新会長就任ごあいさつ

新会長就任に係る抱負

令和4年6月16日付けで会長に就任いたしました。神出亨前会長の後を引き継いで、広島県のスポーツ振興に努めてまいります。

まずは、国体の総合成績常時8位以内入賞に向けた、競技力の向上に取り組んでまいります。

現状の国体成績は、成年の部では、企業チームを中心に安定した成績を挙げいただいておりますが、少年の部の得点が伸び悩んでおります。少年の部の育成・強化に競技団体と一緒に取り組み、チーム広島一丸となって国体入賞を目指します。

また、広島には多くのプロスポーツや企業スポーツがあり、スポーツに触れる機会に恵まれております。子供達がプレーを見て感動し憧れをもち、自分でもやってみたい、将来あんな選手になりたいと夢や希望を持ってほしいと思います。

本会としても、スポーツ好きの子供達を一人でも多く育てるために、スポーツを通じて夢と感動を共有できるプログラムを提供してまいります。

県民の一人ひとりが豊かで活力のある“スポーツ県広島”の実現に向けて、加盟団体(競技・地域・学校)及び関係機関・団体と連携を図り、本県スポーツの振興・発展に努めてまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新役員

(任期:令和4年6月16日から令和6年定時評議員会終結の時まで)

会 長	菊田 知英	(学識経験者)	※新	代表理事
副 会 長	野坂 文雄	(地域団体:広島市)		
	重野 陽一	(競技団体:バレーボール)		
専務理事	小寺 洋	(学識経験者)	※新	業務執行理事
常務理事	堂本ひさ美	(学識経験者)		業務執行理事・県民スポーツ推進事業担当
	河野 裕二	(競技団体:陸上)		業務執行理事・競技スポーツ推進事業担当
	田村 洋二	(競技団体:ホッケー)		業務執行理事・生涯スポーツ推進事業担当
理 事	眞藤 邦彦	(学識経験者)		
	下村 英士	(競技団体:バレーボール、オリンピック)		
	三浦 秀行	(競技団体:水泳)		
	大石 信洋	(学識経験者)	※新	
	大野 貴嗣	(学識経験者)	※新	
	木村 文子	(学識経験者:オリンピック)	※新	
	中堀 成生	(競技団体:ソフトテニス)	※新	
監 事	武井 康年	(弁護士)		
	廣江 裕治	(株広島銀行)	※新	
	中村靖富満	(株やまだ屋)		

専門委員会委員長等

- ◆県民スポーツ推進事業 総務委員会 委員長 堂本ひさ美 企画委員会 委員長 堂本ひさ美 広報委員会 委員長 渡辺 勇一
- ◆競技スポーツ推進事業 強化委員会 委員長 河野 裕二 スポーツ医・科学委員会 委員長 濱田 泰伸
指導者養成委員会 委員長 眞藤 邦彦
- ◆生涯スポーツ推進事業 普及振興委員会 委員長 田村 洋二 広島県スポーツ少年団 本部長 重野 陽一

退任ごあいさつ

皆様への感謝と今後への期待

神出 亨



平成28年より3期6年会長を務めさせていただきました。関係の皆様方には多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

3期目の2年間は、新型コロナの影響により、国体をはじめ多くの行事が中止となりましたが、各地域や関係の皆様方が、今できることをやっていたこととご努力されておられました。引き続き、よろしくお願いしたいと思います。

1点反省と希望についてですが、国体総合成績8位以内を目標に掲げて強化に取り組んでいたのですが、残念ながらこの6年間で14位を最高に目標の達成ができておりません。成年の部では比較的頑張って得点を重ねておりますが、少年の部での活躍がもう少し欲しいところであります。

そのため、新しい試みとして中学校年代を対象とした「ひろしまスポーツアカデミー」の発足をいたしました。成果が出るには少し時間を要するかと思いますが、この取り組みをしっかりと浸透させていただき、国体の結果につなげるよう期待しております。

また、最近の話題として、中学校の運動部活動の地域への移行がございます。指導者や活動場所の確保など地域によって様々な課題が山積すると思いますが、地域のスポーツ団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、地元企業など、皆が力を寄せ集めてジュニアの育成・強化に取り組んでいただけるよう期待しているところです。

最後になりますが、広島県のスポーツがますます盛んになり、さらに飛躍されることを祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。

広島県のスポーツ、そして皆様に感謝!

久保田文也



私の前任の大野徹専務理事にお声がけを頂いてから約23年間、広島県のスポーツに携わらせて頂いて大変いい経験をさせていただきました。

様々な人との出会いやご縁を頂くことができたことに感謝しております。

皆様と一緒にさせていただいた広島県のスポーツに対する活動、その原点になる気持ちをいつまでも忘れずに大切にしていきたいです。

今後の広島県のスポーツはスポーツを愛する人々の想いと活力で成長していくと確信しております。

ご心配いただいた体調については、現状維持の状態です。

まだまだ年齢的にも私の取り巻く環境においても前向きに頑張っていきたいと思っております。

広島県のスポーツと皆様のご活躍とご健勝を心より祈念しております。

広島県のスポーツにおいて、今後、私にできることがあればお声がけしてください。皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

「スーパージュニア選手育成プログラム2022」 トライアル

今年も5月21日(土)、22日(日)に広島会場、5月28日(土)に福山会場でスーパージュニア選手育成プログラムのトライアルを開催しました。

このトライアルで選考された約50名が、一年間を通してさまざまなスポーツを体験する「スーパージュニア選手育成プログラム」に参加することができます。



今年のトライアル参加者は、応募があった県内の小学4・5・6年生約200名県内各地の小学校から参加者が集まりました。学校での体力テストとは違い、周りは知らない子ばかりで緊張感がありますが、ベストを尽くして頑張っていると思います！

開会行事では、主催者を代表して公益財団法人広島県スポーツ協会 堂本ひさ美 強化副委員長が「たくさんの競技と触れ合って、スポーツを楽しんでやってほしい。また、プログラムを通して、自分にあったスポーツを見つけて、このスポーツが大好きと自信をもって言えるものを見つけてほしい。」とあいさつしました。



準備運動が終わったら、いよいよ測定開始です。観客席の保護者の方も、カメラを構え真剣な表情で見守ります。

測定は、上体起こし・40m走・長座体前屈・立ち幅跳び・ソフトボール投げ・20mシャトルランの6種目。

学校でも行ったことがある測定なので、測定が終わるたび選手からは「学校では…」 「学校より…」の声聞こえます。でも、泣いても笑っても今日の測定で決まってしまう。

ソフトボール投げ・20mシャトルランの測定では、毎年良い記録が出ると会場は大盛り上がりです。

今年も体育館の壁に勢いよく当たる遠投があると、選手・保護者・スタッフからは歓声があがり、選手同士で好記録を出した選手へハイタッチをする姿も見られました。また、シャトルランの測定では、100回を超える選手もいて、最後まで必死に走る姿には、会場全体から拍手が起こりました。



【準備運動】



【上体起こし】



【ソフトボール投げ】



【長座体前屈】



【40m走】



【立ち幅跳び】



【20mシャトルラン】

今回のトライアルの選考は既に終了し、選考結果は各選手の記録とともに、参加者全員に通知を行いました。体験プログラムは、7月から始まり、計5回のプログラムが実施される予定です。

また、トライアル終了後には、スピードスケート・ハンドボールの競技紹介が行われました。紹介の時には、さっきまでトライアルに参加していた選手が、競技団体の代表としてデモンストレーションを行う場面もあり、選手達にとっては競技がより身近に感じられたのではないのでしょうか。

競技紹介の終了後には、興味を持った参加者が、実際にその道具や機材を手に体験する姿が見られました。

これをきっかけに、今回合格となった人も、残念ながらそうでなかった人も、いろいろなスポーツへの挑戦をしてみたいと思います。新たな発見をしたり、隠れた才能を見つけたりすることができるかもしれません。



スピードスケート



ハンドボール

最後に、今年もトライアルの測定にご協力をいただいたT&TWAMサポート株式会社のトレーナーの皆様、広島県小学生体育連盟の皆様、補助員としてお手伝いをいただいた広島女学院大学、広島文教女子大学、福山平成大学の学生の皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。



第77回 国民体育大会(特別国民体育大会冬季大会)中国ブロック大会日程及び会場一覧

第77回国民体育大会(特別国民体育大会)中国ブロック大会を県内各会場で開催します!!

組合せ・結果等は随時(公財)広島県スポーツ協会HP(<https://hiroken-spokyo.jp/>)へ掲載いたします。広島県選手団の活躍に応援よろしくお願いします。(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客で開催される場合があります。)

季別	No.	競技名		開催期間					開催市町	会 場
				8/18(木)	8/19(金)	8/20(土)	8/21(日)	8/22(月)		
本大会	1	水泳	水球	8月6日(土)△○～8月8日(月)○					広島市	広島県立広島工業高等学校プール
			アーティスティック スイミング	7月17日(日)△○～7月18日(月・祝)○					広島市	ひろしんビッグウエーブ(広島市総合屋内プール)
	2	サッカー	成年男子	8月11日(木)△8月12日(金)○～8月14日(日)○					広島市	Balcom BMW 広島総合グラウンド
			呉市						ミットヨスポーツパーク郷原 (呉市総合スポーツセンター)	
			少年男子						広島市	広島広域公園第一球技場
			少年女子						東広島市	東広島運動公園陸上競技場
			広島市	エディオンスタジアム広島 広島広域公園補助競技場						
	3	テニス			△○	○	○		広島市	広島広域公園テニスコート
	4	ボート		7月16日(土)△～7月17日(日)○					福山市	芦田川漕艇場
	5	ホッケー		△	○	○	○	□	広島市	広島広域公園第二球技場
	6	ボクシング		△	○	○	○		広島市	コジマホールディングス中区スポーツセンター 小体育室
	7	バレーボール				△○	○		広島市	広島県立総合体育館大アリーナ
	8	体操	競技	7月30日(土)△～7月31日(日)○					広島市	広島県立総合体育館小アリーナ
			新体操	7月29日(金)△～7月30日(土)○						広島県立総合体育館大アリーナ
			トランポリン							
	9	バスケットボール		8月26日(金)△8月27日(土)○～8月28日(日)○					広島市	広島県立総合体育館大アリーナ
	10	ウエイトリフティング				△	○		広島市	広島市佐伯区スポーツセンター
	11	ハンドボール			△	○	○		呉市	シンヨーオークアリーナ(呉市総合体育館) メインアリーナサブアリーナ、IHIアリーナ呉
	12	ソフトテニス				△○	○	□	広島市	広島翔洋テニスコート(広島市中央庭球場)
	13	卓球		8月13日(土)△○～8月14日(日)○					広島市	マエダハウジング東区スポーツセンター大体育室
	14	軟式野球		8月26日(金)△8月27日(土)○～8月28日(日)○8月29日(月)□					呉市	鶴岡一人記念球場(呉市二河野球場)
	15	馬術		7月1日(金)△7月2日(土)○～7月3日(日)○					岡山県真庭市	蒜山ホースパーク
	16	フェンシング		8月12日(金)△8月13日(土)○～8月14日(日)○					福山市	エフピコアリーナふくやま(福山市総合体育館)
	17	柔道				△	○		広島市	広島県立総合体育館武道場
	18	ソフトボール	成年男女・ 少年女子		△	○	○		尾道市	御調ソフトボール球場
			少年男子	8月27日(土)△○～8月28日(日)○					尾道市	御調ソフトボール球場
	19	バドミントン			△	○	○		広島市	マエダハウジング東区スポーツセンター大体育室
	20	弓道		7月16日(土)△7月17日(日)○～7月18日(月・祝)○					呉市	呉市弓道場
	21	ライフル射撃				△○	○		安芸太田町	つつがライフル射撃場
	22	剣道				△	○		広島市	広島県立総合体育館小アリーナ
	23	ラグビー フットボール	成男・女子	8月27日(土)△○～8月28日(日)○					広島市	Balcom BMW広島総合グラウンド Balcom BMW Rugby Stadium
少年男子			8月25日(木)△○8月27日(土)○～8月28日(日)○							
24	スポーツクライミング			△	○	○		府中町	クライムセンターCERO	
25	カヌー	スラローム ワイルドウォーター	5月13日(金)△～5月14日(土)○					岡山県岡山市	旭川特設カヌー競技場	
		スプリント	7月16日(土)△～7月17日(日)○					安芸高田市	八千代湖カヌー競技場	
26	アーチェリー				△	○		安芸高田市	土師ダムスポーツランドサッカー場	
27	空手道		7月23日(土)△～7月24日(日)○					廿日市市	GLOBALRESORT総合スポーツセンター サンチェリー	
28	銃剣道			△	○			広島市	広島市安芸区スポーツセンター	
29	なぎなた		7月16日(土)△～7月17日(日)○					広島市	広島市南区スポーツセンター	
30	ボウリング		7月16日(土)△○～7月18日(月・祝)○					東広島市	賀茂ボウル	
31	ゴルフ		6月22日(水)△6月23日(木)○～6月24日(金)○					東広島市	広島カンツリー倶楽部西条コース	
冬季	32	アイスホッケー		12月10日(土)△○～11日(日)○					広島市	ひろしんビッグウエーブ(広島市総合屋内プール)

△監督会議 ○試合実施日 □予備日